



聖ヨゼフの園便り

第78増刊号 発行 2023年10月 〒北九州市八幡西区青山2丁目1番1号

発行責任者 木戸 邦夫 TEL.093-631-6311 FAX.093-645-2039

令和5年度 厚生労働大臣「奨励賞」受賞 ～ 介護職員の働きやすい職場環境づくり～

ご案内のように、介護保険制度が始まって20年余、介護事業における今日の課題は制度を利用される方の増加は当初から3倍、介護費用も3倍、必要な介護職員数は4倍、制度の持続や職員確保の困難に対応するためには必然的に介護事業が安定するための良き経営を実現していく必要があります。特に、社会福祉法人は行政の認可を得て行っている社会資源としての安定した役割を果たす義務を

8月に入り県から北九州市を通じて「奨励賞」受賞の連絡があり、受賞施設に名を連ねることができました。このことは偏に利用者様やそのご家族、また団体の皆様をはじめ関係者、事業に関わる地域・団体の皆様の皆様と受賞するに至るまでの職員の皆さんの伝統の敬愛と良い仕事をするための向上心の成果だと改めて感謝申し上げる次第です。

令和5年6月「園便り77号」では、今年度から始まった厚生労働省主幹の表彰制度「介護職員の働きやすい職場環境づくり」の審査対象施設として、福岡県では当法人の申請を紹介しました。表彰該当施設数は10先程度と把握していましたが、全国で特別養護老人ホームだけでも一万を超える数の中から表彰されることはそう簡単ではないと思え、しかし半分期待もしながらその結果を待っていました。

社会福祉法人 援助会
理事長 木戸 邦夫
介護事業が良き歩みを続ける
ための大切な要素&表彰

負っているわけで、経営の工夫をしなければならぬ。その力点として経験上経営資源の「人」と「もの」に注力することが近道だと言えます。その結果が、介護職員が働きやすい職場環境の創出に繋がっていきます。

この賞のポイントは以下のようなものです。
※介護職員の働きやすい職場環境づくりに資する取り組みであること
※実効性・持続性のある取組みであること
※他事業所導入が期待される取組みであること
こうした観点で、職員の処遇改善、人材育成、その体制や効果を審査対象とするものです。
その結果、全国では「内閣総理大臣表彰」2施設、「厚生労働大臣表彰 優良賞」4施設、「厚生労働大臣表彰 奨励賞」54施設(うち九州管内11施設)、計60施設が表彰されました。

セミナー講師をするなかで外部の社会福祉法人や民間企業の介護事業者に接しながら、また業界に詳しい外部の専門家の意見では、介護事業を経営として捉えている法人は全国でも3割だと推量できます。
介護の仕事の本質は、現代の困難な事業環境にあっても安定経営を行い、地域社会と密に連携しながら良き介護の質を提供し、地域社会資源としての役割を果たすこと。

この表彰に資する取組みは、その視点が根幹にあります。次頁以降、ご参照ください。

会員法人・施設のトピックス

社会福祉法人 援助会 令和5年度 厚生労働大臣「奨励賞」を受賞しました



福岡県から1事業者が受賞!

～令和5年度「介護職員の働きやすい職場環境づくり

内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」～

厚生労働省では、今年度より介護職員の労働環境の改善を推進するため、職員の待遇改善、人材育成及び介護現場の生産性向上への取り組みが優れた介護事業者を表彰することとし、全国で60事業者の受賞が決定し、このうち、福岡

県内から特別養護老人ホーム聖ヨゼフの園が厚生労働大臣表彰奨励賞を受賞しましたのでお知らせします。

表彰された取り組みは、計画的な職員研修の実施など人材育成を熱心に行うとともに、介護現場のシステム化・ペーパーレス化など、職員の仕事のしやすさと利用者に対するケアの時間の余裕を生む介護現場の生産性向上に積極的に取り組んでいること、等の内容です。

詳しくは、以下の福岡県または厚生労働省ホームページをご参照ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/kaigo-hyousyo.html>

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_34818.html

また先般、福岡県介護人材確保対策室長、北九州市介護保険課長他ご来園いただき、授賞式が行われました。

北九州高齢者福祉事業協会/HP より

ほむさぼ向上委員会は、外部のICT専門業者と業務提携し、私たちに無いノウハウと先進的な生産性やその効果を求める分野

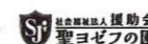


「介護職員の働きやすい職場環境づくり 内閣総理大臣表彰・厚生労働大臣表彰」

計画的な職員研修の実施など人材育成を熱心に行うとともに、介護現場のシステム化・ペーパーレス化など、職員の仕事のしやすさと利用者に対するケアの時間の余裕を生む介護現場の生産性向上に積極的に取り組んでいるとして受賞

ほむさぼでの取り組みとしては

- ① ほむさぼ向上委員会の運営支援
各部署(特養、養護、看護、居宅、訪問、グルホ、通所、事務室)から選ばれた委員会メンバーと、「ほむさぼ×委員会」「委員会のみ」で毎月1回ずつ会議実施。
- ② 実施済み、実施中の内容
●社内コミュニケーションツールの提案、導入、導入フォロー
●社内マニュアルの整理、閲覧方法の整備
●施設内の固定電話・PHS・インカム等の入替検討をフォロー



ほむさぼ 介護現場IT調査

何に現場が困っているか?何を楽にできるか?